

RC-808-PLG インストール・マニュアル

Logic Pro X

1. はじめに

RC-808-PLG は DAW(Digital Audio WorkStation)に RC-808(TR-808 の emulator))の機能を追加するためのプラグインです。

本書では、Mac 上で動作する Logic Pro X へのインストール手順を解説します。

インストールがうまくいかない時は、巻末もご参照ください。

2. 準備

Safari で .zip をダウンロードすると、正しく解凍されない場合があります。そのため RC-808-PLG が正しく動作しないことがあるので、以下の手順で、ダウンロードしてください。

1. まず、無料の APPLE 純正の解凍ソフトウェアを App Store からダウンロードしてください。

<https://apps.apple.com/jp/app/the-unarchiver/id425424353?mt=12>

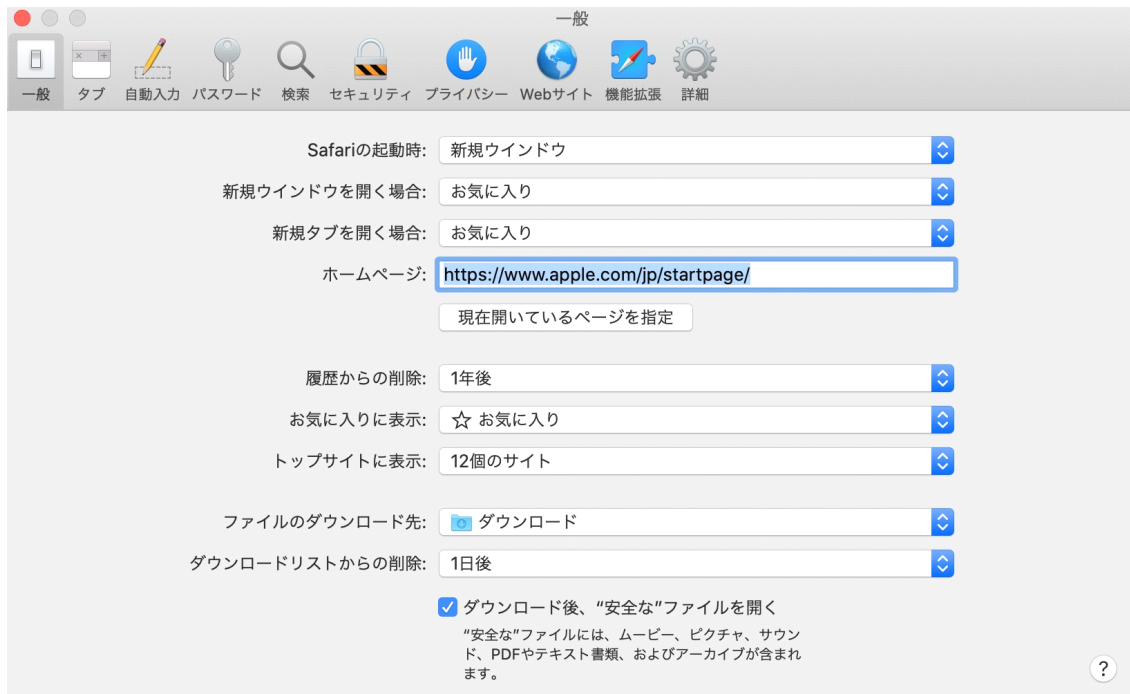
2. Safari のデフォルト設定では、zip ファイルをダウンロードすると自動的に解凍します。これを回避するために、以下のように設定を変更してください。

3. 環境設定

Safari を起動し、「Safari」メニューから「環境設定」を選択します。



「一般」タブを選択し、「ダウンロード後、“安全な”ファイルを開く」のチェックボックスの選択を外します。



※今回の作業が終わったら、この設定は元に戻しても構いません。

4. ダウンロード

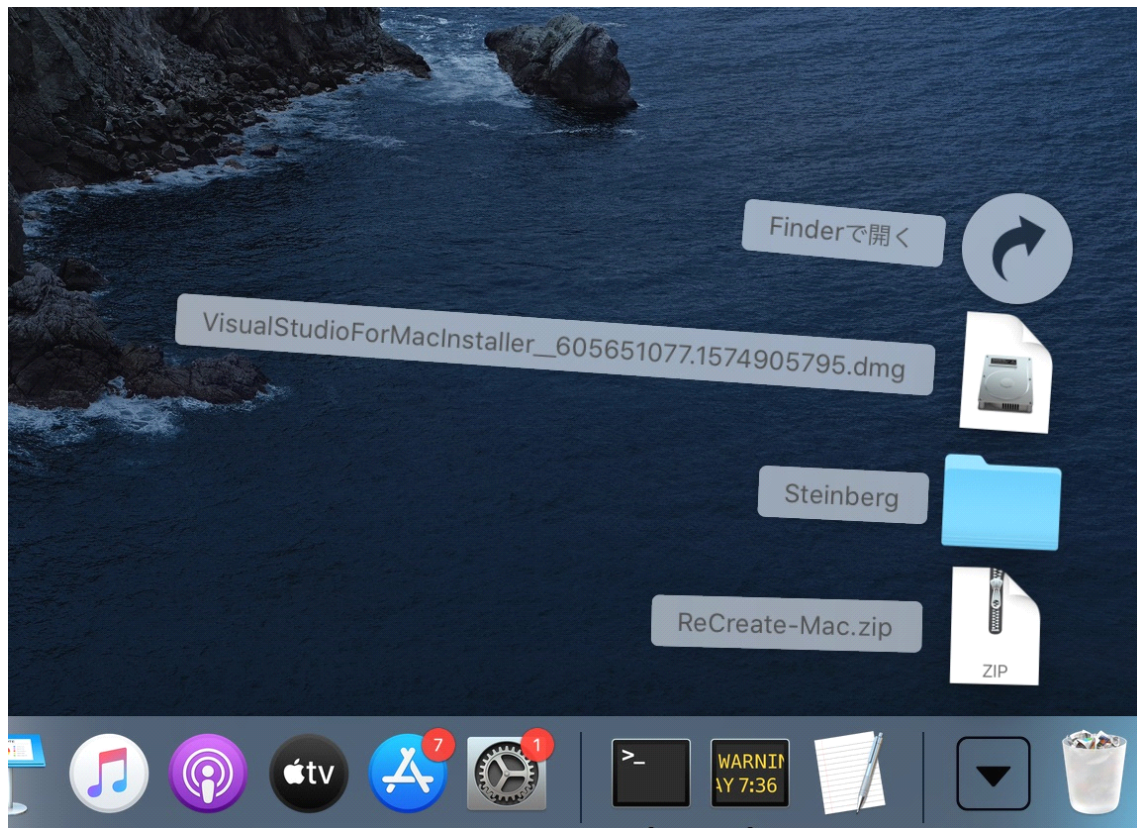
<https://rc-808.com> のダウンロード・ページを開き、「Mac Version」ボタンをクリックして、ReCreate-Mac.zip をダウンロードします。

5. 解凍

Finder でアプリケーション・フォルダを開き、The Unarchiver のアイコンを表示します。



Mac のドックのダウンロードアイコンから ReCreate-Mac.zip を探し、The Unarchiver のアイコンにドラッグ&ドロップします。

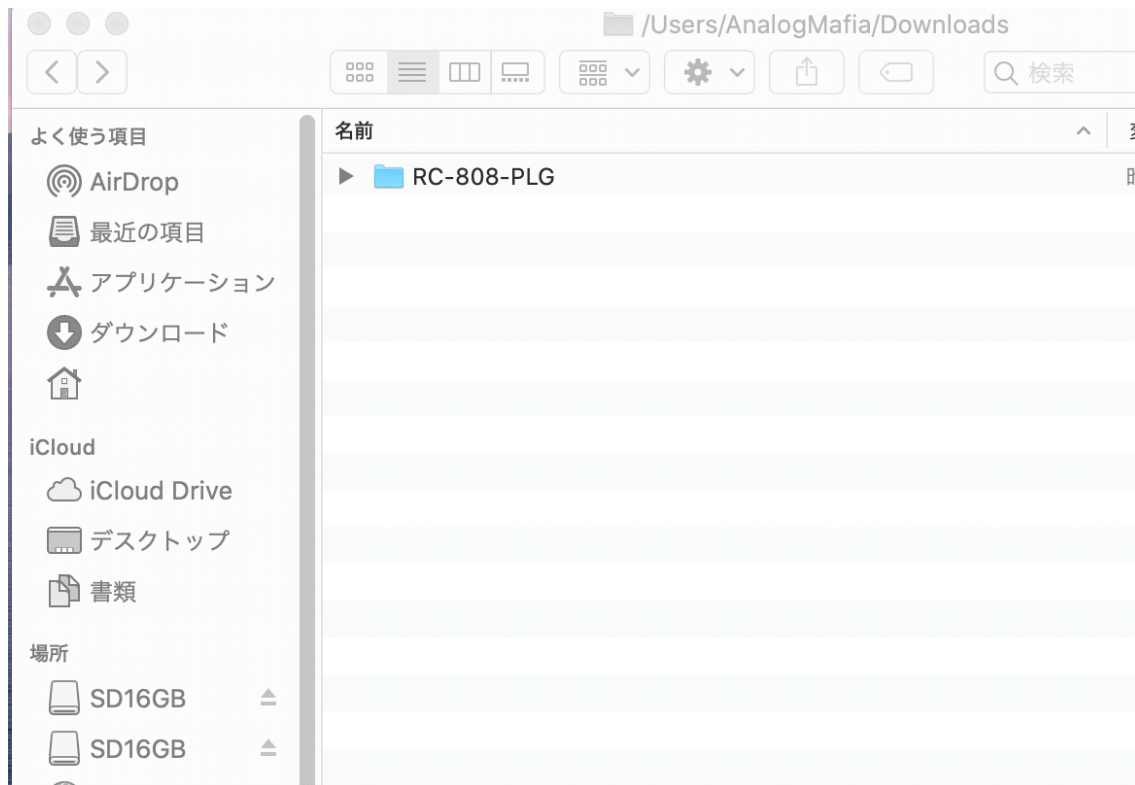


ダウンロード・フォルダに ReCreate-Mac が解凍されます。

3. Logic Pro X 用 Plugin のインストール手順

1. Logic Pro X が起動中であれば、一旦終了します。

2. Finder でダウンロード・フォルダを開きます。



RC-808-PLG フォルダの内容は、

- Plug-In/RC-808-PLG.component. . . . Logic Pro X 用のプラグイン・ファイルです。
- Plug-In/RC-808-PLG.vst. . . . Cubase 用のプラグイン・ファイルです。
- Prm. . . . RC-808 の楽音合成のためのパラメータのフォルダです。

3. プラグイン・ファイルを移動します。

Finder を起動し、「移動」メニュー→「コンピュータ」をクリックします

ハードディスク(デフォルトでは「Macintosh HD」)を開きます。

「ライブラリ」→「Audio」→「Plug-ins」→「Components」フォルダに RC-808-PLG.component を移動します。

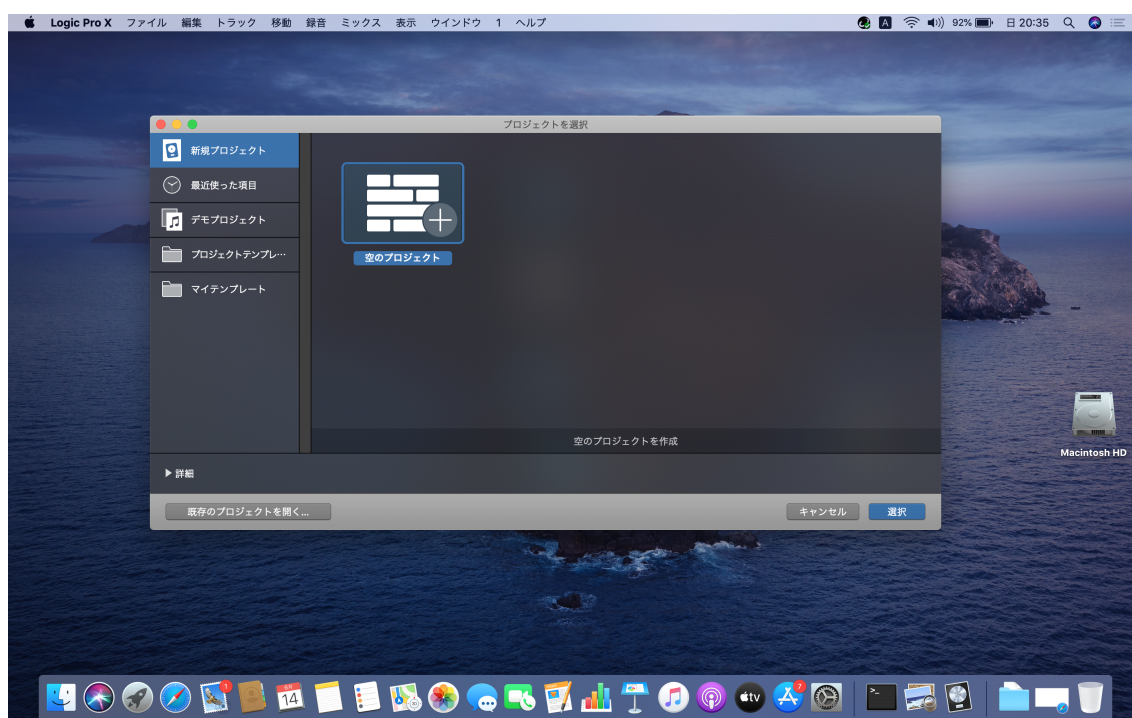
このとき、管理者パスワードを求められることがあるので、そのときは管理者パスワードを入力します。

4. Logic Pro X を起動します。

「新規プロジェクト」で「空のプロジェクト」を選択します。

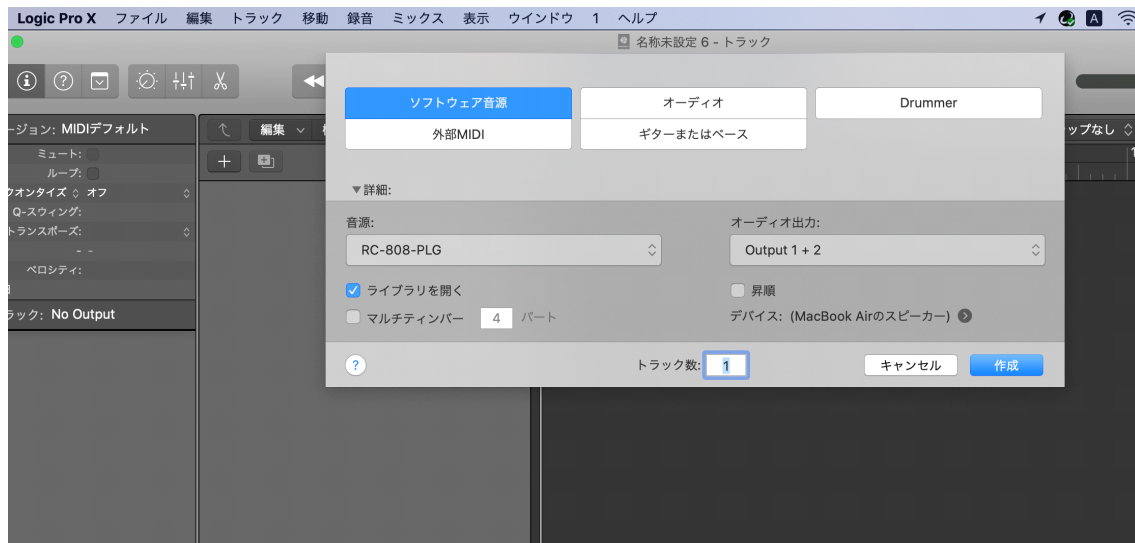
「選択」をクリックします。

※ 起動時に「開発元を検証できないため開けません」のメッセージが表示された場合は
巻末の参考資料をご覧ください。



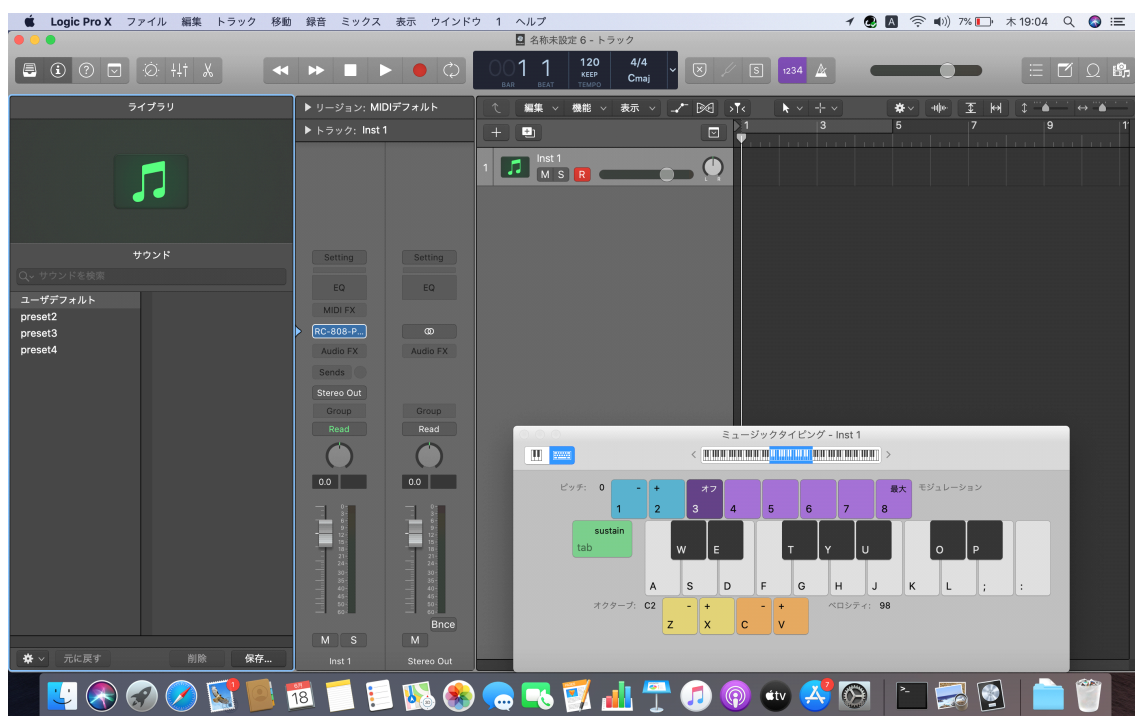
5. 音源を設定します。

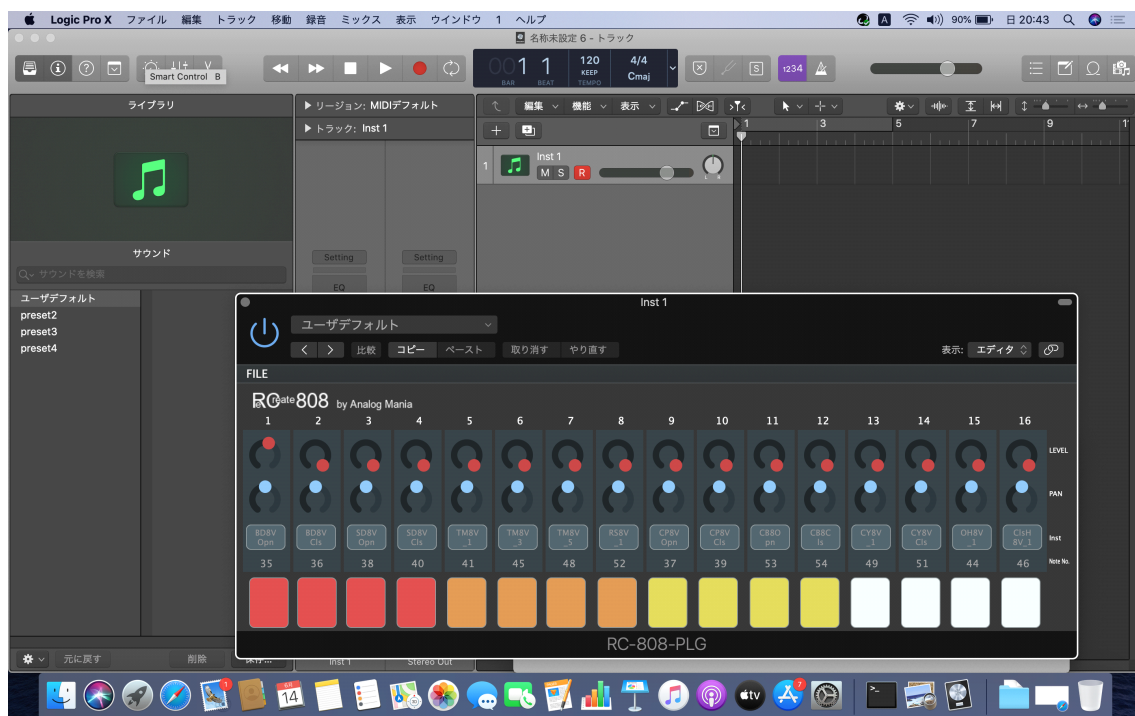
トラック・ウィンドウが開いているので、「ソフトウェア音源」を選択し、音源の
「RC-808-PLG」を選択します。このとき、「モノラル」か「ステレオ」を選択できます。
「作成」をクリックします。



6. RC-808 のパネルの起動します。

トラック表示で青く表示されている RC-808-PLG をクリックすると、RC-808 のパネルが呼び出されます。





7. RC-808 の楽音合成のためのパラメータ・ファイルを読み込みます。

RC-808-PLG パネルの左上の「FILE」→「Import」をクリックし、 設定ファイル(.allprm ファイル)を選択します。



フォルダには 1 個の allprm ファイルと 16 個の prm ファイルがあります。

このパラメータは RC-808(TR-808 の emulator)と同様にエディットできます(RC-808 取扱説明書 参照)。

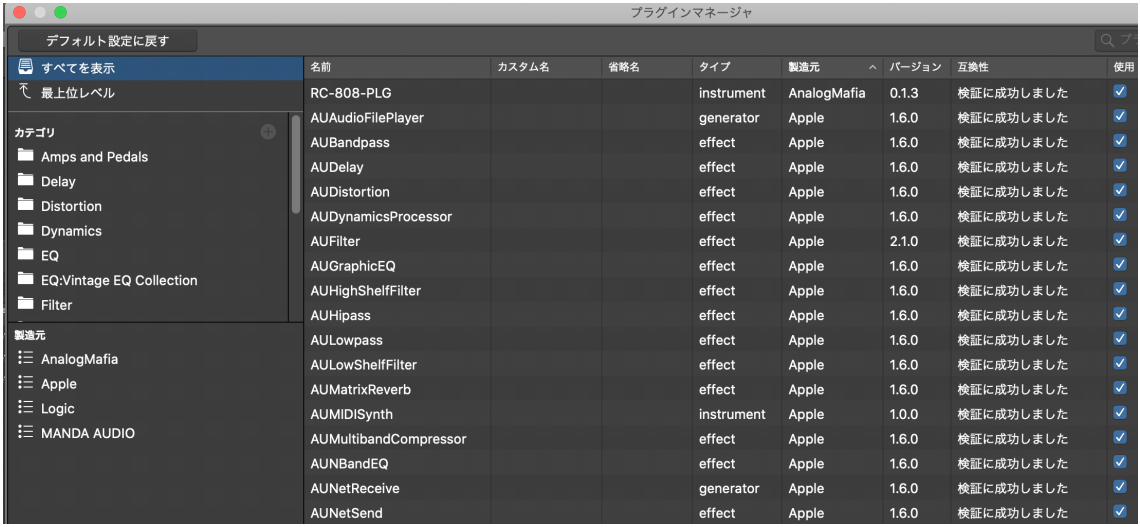
エディットしたパラメータは図 7 の「ユーザーデフォルト」メニューから保存することができます。

8. Logic Pro X が RC-808-PLG を正しく認識できたか確認する方法

メニューの「Logic Pro X」→「環境設定」→「プラグインマネージャ」をクリックします。

製造元で「AnalogMania」を選びます。

RC-808 の項目で、互換性が「検証に成功しました」となっていたら認識されています。



プラグインマネージャ								
デフォルト設定に戻す								
	名前	カスタム名	省略名	タイプ	製造元	バージョン	互換性	使用
すべてを表示	RC-808-PLG			instrument	AnalogMafia	0.1.3	検証に成功しました	✓
最上位レベル	AUAudioFilePlayer			generator	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
カテゴリ	AUBandpass			effect	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
Amplifiers and Pedals	AUDelay			effect	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
Delay	AUDistortion			effect	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
Distortion	AUDynamicsProcessor			effect	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
Dynamics	AUFilter			effect	Apple	2.1.0	検証に成功しました	✓
EQ	AUGraphicEQ			effect	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
EQ/Vintage EQ Collection	AUHighShelfFilter			effect	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
Filter	AUHipass			effect	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
製造元	AULowpass			effect	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
AnalogMafia	AULowShelfFilter			effect	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
Apple	AUMatrixReverb			effect	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
Logic	AUMIDISynth			instrument	Apple	1.0.0	検証に成功しました	✓
MANDA AUDIO	AUMultibandCompressor			effect	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
	AUNBandEQ			effect	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
	AUNetReceive			generator	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓
	AUNetSend			effect	Apple	1.6.0	検証に成功しました	✓

4. Logic Pro X 用 Plugin のアンインストール手順

1. Finder を起動します。

Finder の「移動」メニュー→「コンピュータ」をクリックします

ハードディスク(デフォルトでは「Macintosh HD」)を開きます。

「ライブラリ」→「Audio」→「Plug-ins」→「Components」フォルダの

RC-808-PLG.component を削除します。

Copyright(C) 2020 by Analog Mania.

会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。

(参考資料)

Logic Pro X の起動時に「開発元を検証できないため開けません」のメッセージが表示された場合の対処法

1. Logic Pro X 用プラグインのインストール手順

Finder を起動し、「移動」メニュー→「コンピュータ」をクリックします
ハードディスク(デフォルトでは「Macintosh HD」)を開きます。

「/Library/Audio/Plug-ins/Components」フォルダに、先ほど解凍した RC-808-PLG.component を移動します。

このとき、管理者パスワードを求められることがあるので、そのときは管理者パスワードを入力します。

Logic Pro X を起動します。



RC-808-PLG ファイルが正しい場所に置かれていない場合にもこのメッセージが表示されますので、一応確認してください。

「OK」をクリックします。



You are using incompatible Audio Units.

Dear Logic Pro X user,
you have 1 Audio Unit(s) enabled which did not pass the Apple AU validation. This may cause problems and can even crash Logic Pro X or lead to data loss!
Please check with the manufacturer(s) for updated versions. We recommend disabling these plug-ins in the Plug-In Manager.

Start Plug-In Manager

Ignore

このメッセージが表示された場合は、「Ignore」をクリックします。



"RC-808-PLG.component"は、開発元を検証できないため開けません。

このアプリケーションにマルウェアが含まれていないことを検証できません。

このファイルは"Safari"により今日の1:51に**rc-808.com**からダウンロードされました。



ゴミ箱に入れる

キャンセル

「キャンセル」をクリックします。
もう一度同じメッセージが出る場合がありますが、それも「キャンセル」をクリックします。

Logic Pro X が立ち上がります。



このメッセージが表示された場合は、「OK」をクリックします。

Logic Pro X を終了します。

アップルメニュー → 「システム環境設定」メニュー → 「セキュリティとプライバシー」をダブルクリックします。



このプラグインが表示されるので「このまま許可」ボタンをクリックし、このダイアログを閉じます。

Logic Pro X を起動します。



"RC-808-PLG.component"の開発元を検証できません。開いてもよろしいですか？

このアプリケーションを開くことによって、システムのセキュリティが無効になり、コンピュータと個人情報がマルウェアにさらされる場合があります。その結果、マルウェアによって、Macやプライバシーに損害を受ける可能性があります。

このファイルは"The Unarchiver"により作成されました。作成日は不明です。



ゴミ箱に入れる

開く

キャンセル

このメッセージが出たら「開く」をクリックします。
これで、次回からこのメッセージは表示されなくなります。

Logic Pro X を終了します。

再び Logic Pro X 起動します。

2. インストールできない場合の対処法(ネットでの情報)

◆ キャッシュを削除してみる。

~Library/Cache/AudioUnitCache の com.apple.audiounits.cache を一時的に何処かに退避して、Mac を再起動すると認識できる状態になる場合があるようです。

◆ GrageBand に RC-808-PLG のインストールを試してみる。

GrageBand は MacOS に付属している DAW です。 RC-808-PLG に関しては、Logic Pro X と互換性があります。

起動後、「表示」→「Smart Control を表示する」で出てくるウィンドウで「プラグイン」を選び、青いところをクリックしたら「RC-808」が選べます。あとは、本マニュアルの「"RC-808-PLG.component"は、開発元を検証できないため開けません」の項目以降を実施すれば、インストールできます。

GarageBand へのインストールが成功すると、Logic Pro X の認識ができた状態になっている場合があるようです。

◆ インストールを繰り返してみる。

Logic Pro X はプラグインに変化があると、プラグインをスキャンするアプリがバックグラウンドで起動するようです。

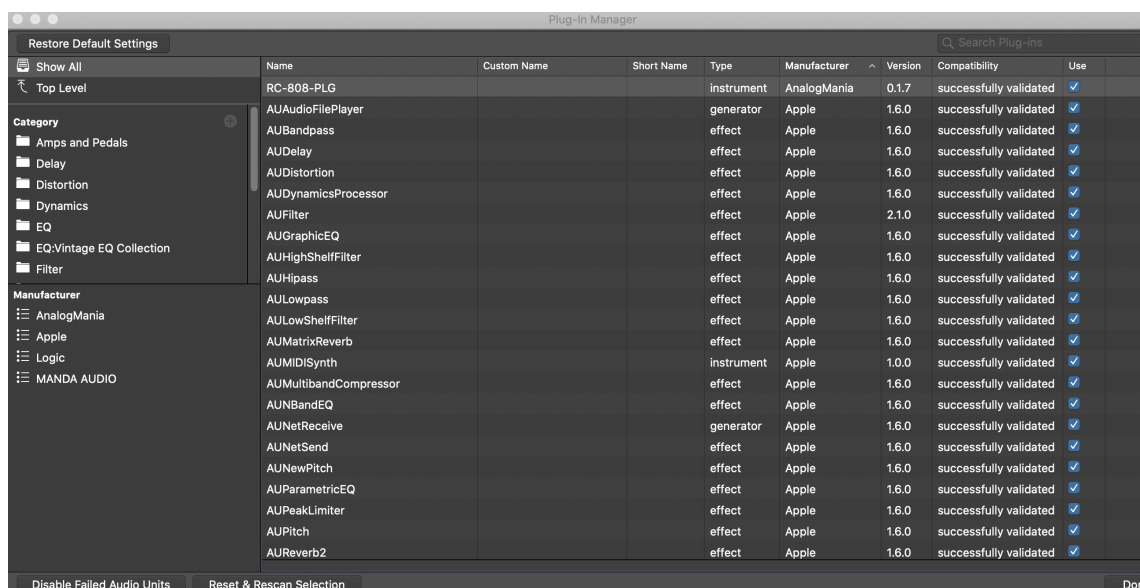
これが結構時間がかかるようで、プラグインが多い場合は、10 分以上という場合もあるようです。

ネットのユーザーの間では、このアプリがインストールの邪魔をするのではないかと仮説が立てられています。

この理由によりインストールが失敗する場合は、MacOS 再起動後に、「1. Logic Pro X 用プラグインのインストール手順」からやり直すとうまくいく場合があるようです。

3. RC-808-PLG が正しく認識されているか 確認する方法

「Logic Pro X メニュー」 → 「システム環境設定」 → 「Plug-in Manager」をダブルクリックします。



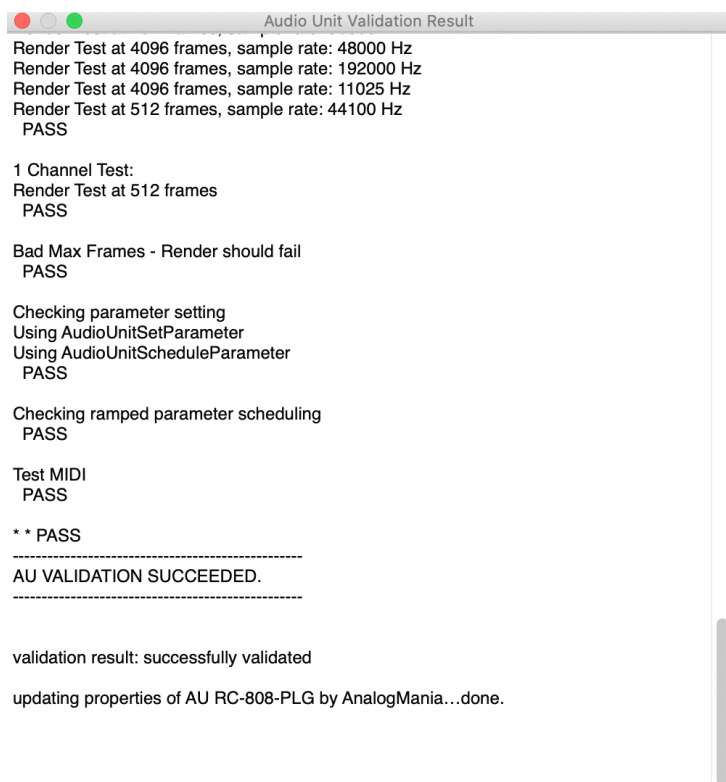
RC-808-PLG の項目が"successfully validated"と表示されていても、正しく認識されていない場合があります。

RC-808-PLG を選択して、左下の"Reset & Rescan Selection"をクリックします。

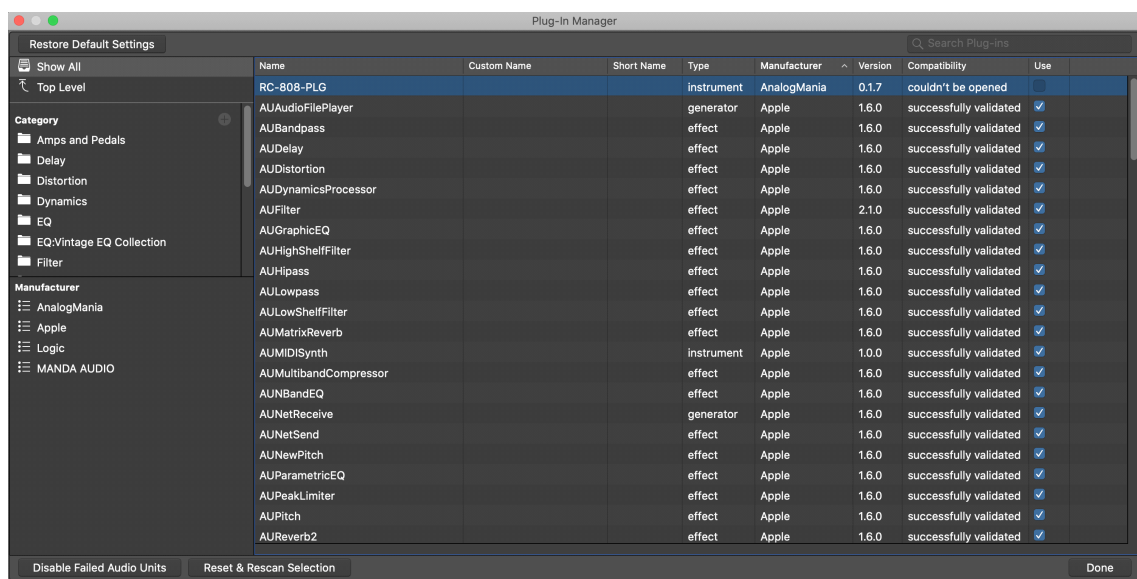


「キャンセル」をクリックします。

もう一度同じメッセージが出る場合がありますが、それも「キャンセル」をクリックします。



表示されているこのメッセージを閉じます。



これで、RC-808-PLG が認識されていなければ、図のように、"couldn't be opened" となります。 その場合は「2. Logic Pro X 用プラグインのインストール手順」から実施し直してください。

RC-808-PLG の項目が"successfully validated"と表示されれば、正しく認識されています。

Plug-in Manager を終了します。

Logic Pro X を終了します。

再び Logic Pro X 起動します。

Copyright(C) 2020 by Analog Mania.

会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。